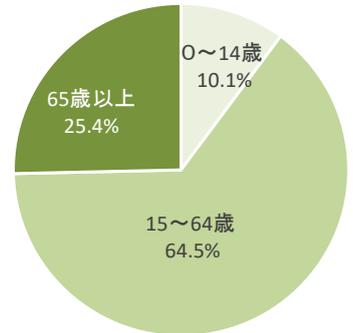


第9地区福祉プラン

川越駅西口に位置し、国道16号と西武新宿線の通る地域で、駅前には県西部地区のにぎわいを創出する複合施設のU PLACEや多くの高層ビル等が立ち並んでいます。また、周辺には昔、陸軍大演習の際に、大正天皇がお立ち寄りになった「御野立の森公園」などがあります。平成13年には、旭町3丁目の山車に乗せる「松平信綱」の人形が完成し、川越まつりではその雄姿を見ることができます。

■人口	11,670人
■世帯数	5,968世帯
■民生委員・児童委員数	17人 (主任児童委員を含む)
■保健推進員数	4人
■ボランティア団体数	8団体
■老人クラブ数	4クラブ
■福祉施設数	17施設

■年齢別割合



活動目標1 声かけや呼びかけを通じて地域のつながりを深めよう

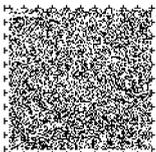
- ◇子どもや大人が地域であいさつするように、日々の暮らしの中で声かけを意識していきます。
- ◇見やすい回覧板の作成、関心の持てるイベントの開催、意欲をかき立てる内容のPR等、地域住民への呼びかけを工夫します。
- ◇高齢者に限らず、地域の人交流できる場所(自治会館や公園等)を増やしていきます。

活動目標2 地域の見守り活動を推進する体制づくりを行います

- ◇老人会や育成会などの団体や自治会等が中心となり、高齢者や子どもたちが参加しやすい行事等を企画していきます(川越まつりや文化祭、特技を生かした集まりやサロン、いきいき健康体操や一人暮らし高齢者の集い等)。
- ◇自治会役員等が中心となり、パトロール等を行いながら見守り活動を実施します。状況に応じて、見守りをしながら高齢者の話し相手になります。
- ◇ボランティアグループが活動を継続していけるよう、地域で支援していきます。また、地域内でボランティアのリーダーを育成します。

活動目標3 災害に備える取組を充実させよう

- ◇自主防災組織の取組等を充実させます。
- ◇防災訓練等への参加を住民に働きかけ、地域の協力体制づくりを行い、災害時の避難の際に、一人も見逃さないよう声かけなどの取組を行います。
- ◇自治会等地域の各種団体は、災害時の援助や日常の見守り活動等のために、一人暮らし高齢者本人の同意に基づいた情報(支援者カード)を共有し、連携を図り活動します。



地図と主な地域資源



②④～⑦おしゃべりサロン



②一人暮らし高齢者集い事業



⑧芋掘り事業



⑦世代間交流事業(夏祭り)

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	旭町1丁目自治会集会所	④	広栄町自治会集会所	⑦	脇田本町公園
②	旭町2丁目公民館	⑤	脇田新町公民館	⑧	山田園(福原地区)
③	旭町3丁目自治会集会所	⑥	脇田本町自治会館		

